

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2019年度 パフォーマンス向上会議情報(2019年10月4日(金)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2019年10月4日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	【2号機原子炉建屋 排気設備(B)の高性能粒子フィルタの差圧上昇について】 2号機原子炉建屋 排気設備(B)の現場盤に「排気フィルタユニット(B)高性能粒子フィルタ差圧高」警報を確認。高性能粒子フィルタに詰まりが発生したものと推定されるため交換予定。	GⅢ	9月30日
2	【6号機増設淡水化装置の原水タンク(H)入口弁の操作困難について】 6号機増設淡水化装置の原水タンク(H)入口弁において、弁の動きが重く操作困難な状況を確認。操作しづらく、ゆっくりだが弁の開閉は可能。 今後、点検修理予定。	GⅢ	10月1日
3	【発電所構外の協力企業作業場における蜂刺症について】 発電所構外の協力企業作業場において、作業員が高線量ガレキ用吸引機の組立作業中に右耳後ろを虫に刺された。 近隣医療機関にて蜂刺症と診断を受け、塗薬塗布、痛み止め飲み薬を処方。 その後、作業に復帰。	GⅢ	10月1日
4	【2号機廃棄物処理建屋での穿孔作業における、ろ過水ホースからの水漏れについて】 2号機廃棄物処理建屋において、滞留水移送装置ポンプ設置のための穿孔作業を行っていたところ、穿孔機に使用しているろ過水のホースからろ過水の水漏れを確認。 水漏れ量は、約11リットルで拭き取りを実施。 水漏れは停止し、ホースは交換済。 原因は、外面に3mm程度の傷があったが、近傍にはホースを傷つける鋭利なものは見当たらないことから、ホース布設時に何かで傷つけたものと推定。	GⅢ	10月2日